危機管理は日頃からの意識が大切

新政会
横沢（よこざわ）　英一（えいいち）

その他の質問事項
▼ 大阪北部地震を教訓とした、ブロック塀の調査と対応
▼ ドクターヘリの出動状況等について

◆塩尻東地区の法面崩壊

問 田川浦湖への土砂崩壊事故の原因と、流出した土砂の安全性は。

答 この施設は資材や産廃の一時保管場所として使用されており、5月中旬の雨で法面が崩壊し、田川浦湖方面へ土砂と併せて、木くず、ガラス片等も崩落した。県は土地使用者に対し撤去を指導している。田川浦湖の魚類が、特に影響を受けているとの報告はない。

◆西日本豪雨災害等教訓に

問 豪雨災害等を教訓にハザードマップの見直しが必要ではと考えるが。

答 ハザードマップは今年更新を予定している。

問 防災倉庫の充実と高齢者の熱中症対策は。

答 自分達の居住する地域の危険箇所を把握し防災訓練等で確認することが重要と考える。防災倉庫は棚の整備、夜間照明の設置等を検討している。高齢者の熱中症対策は課題も多いが、隣近所で声掛けなど支え合いが大切であると考えている。

◆両小野バイパスの状況

問 国道153号は中京圏と中信地区を結ぶ重要な幹線道路である。バイパスとグランドデザインの進捗状況はどうか。

答 バイパスについては関係機関に強く陳情している。国会議員・県会議員・辰野町等と連携し事業化に努めている。グランドデザインは県と北小野・塩尻東・大門・高出地区等関係区と準備を進めている。

市内国道153号グランドデザインの作成を

Fパワーバイオマス電力を小中学校に

市政同志会2015
中原（なかはら）　巳年男（みねお）

その他の質問事項
▼ 多子世帯への援助、とくに3歳未満児保育について
▼ 空き家対策と農地活用の両立について

◆小中学校等へのFパワー電力の利活用

問 今議会では他議員の質問で小中全校への早期エアコン設置が市長から表明され安心したが、設置工事の順番は学校単位か学年単位か。

答 体温調整が難しい小学校から整備していきたい。

問 信州Fパワープロジェクトの発生電力を市内小中学校エアコンへ供給する考えは。

答 地域密着型の小売電気事業者を設置し木質バイオマス発電所の電気を市内に供給する仕組みの構築を目指し準備を進めている。本年度中に市森林公社が小売電気事業をスタートさせたい。木質バイオマス発電所稼働までは近隣の自然エネルギー発電者や日本卸電力取引所から電力を調達し市内小中学校をはじめとする29の公共施設に電力供給を開始したい。

◆異常気象による市内農業への影響は

問 今年の異常気象や猛暑による農業への影響の有無と対策はどうか。

答 葉物野菜を中心に縁腐れ病や軟腐病が発生した。果樹ではリンゴ、ブドウ、ナシに日焼け果や生育不良がみられるほか、ブドウでは例年より早く晩腐病が見られる。水稲では出穂期が早く、胴割米や白未熟粒の発生が懸念される。農家にはかん水や散水、薬剤による防除対策等を促すほか、今後も県関係機関や両JAと連絡を密にし対応には万全を期してまいりたい。

塩尻西小学校保健室の設置済みエアコン

政治家の選挙区内への寄附は、一部の例外を除き罰則をもって禁止されています。